

経営学専攻 TOPICS

経営学専攻の教員が各自の研究の魅力・面白さなどを紹介しています。大学院のカリキュラム紹介のページなどと併せて参考にしてください。

宇山 通（うやま・みちる）職名：准教授 学位：博士（商学）（大阪市立大学）

担当科目名：テクノロジー・マネジメント特殊講義A・B

研究の紹介・アピールポイントなど：

研究分野は製品開発・生産のマネジメントです。特に、多様で変化する市場ニーズに対し、自動車企業がいかに開発・生産体制を適応・発展させてきたのか、その動的な変遷を研究しています。

研究の主眼は、過去から現在に至る変遷をたどる通時的な分析にあります。過去との対比を通じて、現代のマネジメント手法が持つ独自性を浮き彫りにし、その形成過程にある因果関係を解明することを目指しています。歴史的な文脈を捉えることは、現代の課題を相対化し、次世代の生産システムを展望する上でも不可欠なプロセスです。単なる過去の記述に留まらず、現在、そして未来のマネジメントのあり方を照らし出す実証的な研究を志向しています。

リサーチマップ：<https://researchmap.jp/read0153269>

菅野 正泰（かんの・まさやす）職名：教授

学位：博士（経済学・京都大学）、経営修士（金融戦略MBA・一橋大学）

担当科目名：経営財務論特殊講義A・B、リサーチ・メソドロジーA、経営学演習

研究の紹介・アピールポイントなど：

私の研究領域は、ファイナンス・金融工学です。特に計量ファイナンスを研究しており、信用リスク管理はその中心分野です。昨今、企業の財務力・信用力を見るためには、財務情報のみならず、非財務情報、すなわち、炭素排出量・イノベーション（E）、人的資源管理（S）、CSR・株主（G）など、ESG リスク要因を考慮した経営分析が重視されています。

担当科目の特殊講義ではコーポレート・ファイナンスを教授します。また、リサーチ・メソドロジーAは計量分析の基礎である数理統計学の基礎を学修する科目で、専攻を問わず、本商学研究科修士の学生には重要な科目です。昨今の学術研究ではデータマネジメントが重視されており、アンケートデータを利用する研究であっても、数理統計学を正しく適用し、正しいデータの運用が求められています。

最後に、ファイナンス（金融・財務）、ESG 経営、コーポレートガバナンス、経営分析、CSR、環境分析、保険・リスクマネジメント、財務分析など、専攻を問わず、幅広い領域に対応可能です。

リサーチマップ：<https://researchmap.jp/endeavor7716270>

Google Scholar：<https://scholar.google.co.jp/citations?hl=ja&user=RdQ08EYAAAAJ>

坂本 義和（さかもと・よしかず） 職名：教授 学位：博士（商学）（慶應義塾大学）

担当科目名：経営管理論特殊講義（Ⅰ）A、経営管理論特殊講義（Ⅰ）B

研究の紹介・アピールポイントなど：

私の専門分野は経営史です。特に企業経営（特に企業戦略、組織構造、サプライチェーン）について歴史的アプローチから研究を行っています。近年は台湾の Giant 社における大量生産と新製品開発に関する歴史に焦点を当てています。

担当している経営管理論特殊講義では、イノベーションとその担い手であるアントレプレナーについて理解を深めることを目的としています。

リサーチマップ：<https://researchmap.jp/read0128589>

鈴木 由紀子（すずき・ゆきこ） 職名：教授 学位：博士（経営学）（東北大学）

担当科目名：企業倫理論特殊講義 A・B、経営学演習

研究の紹介・アピールポイントなど：

私の専門とする企業倫理は、日本では 1990 年代の企業不祥事を契機に注目され、2000 年代に入って大学の設置科目となった経営学分野では比較的新しい領域です。倫理・コンプライアンス体制が整備された現在においても、企業不正は後を絶ちません。企業の不正問題がなぜ起きるのか、社会の中で企業はどうあるべきか等の問題意識をもっています。近年は、特に社会志向企業に関心があり、「株式会社とは何か」という基本的な視点に立ち、公益目的と資本調達能力の両立を図る組織のあり方を含めて、企業活動の社会へのプラスとマイナスの影響を研究しています。

リサーチマップ：<https://researchmap.jp/yukikosuzuki1939>

高久保 豊（たかくぼ・ゆたか） 職名：教授 学位：商学修士（慶應義塾大学）

担当科目名：経営学特殊講義（Ⅱ）A・B、外国文献研究（中）、ワークショップ

研究の紹介・アピールポイントなど：

中国のビジネスモデルと東方管理学（中国の伝統思想と経営実践）に焦点を当てた研究を行っております。ここ数年の関心は「デジタル儒商」です。大学院生への指導に当たっては、日本語を基本言語としながらも、必要に応じて中国語等による意思疎通を図ります。教室では、座学による知識の共有化に加え、積極的なディスカッションが特徴となっています。また、正規の授業時間だけでなく、外部講師や有志学生チームとの研究交流、日中関係学会の研究会への参加などを組み合わせ、有機的な学びを重視します。ご関心の方は、関連ホームページをご一読ください (<https://sites.google.com/view/takakubo/>)。

リサーチマップ：<https://researchmap.jp/read0028014>

周 炫宗（ちゅう・ひよんじょん）職名：准教授 学位：博士（商学）（慶應義塾大学）

担当科目名：経営組織論特殊講義（I）A・B、経営学演習

研究の紹介・アピールポイントなど：

研究分野は、経営組織論、戦略経営論、組織学習論です。企業が変化の激しい環境のなかで、どのように組織を活性化し、競争力を維持していくのに関心を持っています。特に、経営トップと現場をつなぐミドル・マネジメントの役割に注目し、現場から生まれる創造的なアイデアが、組織学習を通じて新製品開発や事業変革へと結びつくプロセスを研究しています。研究では、企業事例の分析やインタビュー調査を重視しています。授業では、理論と実際の企業事例を結びつけながら、組織が成長し続けるための仕組みについて考えていきます。

リサーチマップ：<https://researchmap.jp/chu.hyonjon>

中川 充（なかがわ・みつる）職名：教授 学位：博士（経営学）（北海道大学）

担当科目名：経営戦略論特殊講義 A・B

研究の紹介・アピールポイントなど：

私の専門分野は、経営戦略論です。特に、グローバルな規模で事業を展開する多国籍企業の組織と戦略について、関心を持っています。異なる文化や制度などの環境のもと、企業がいかにして組織や市場に存在する「違い」を乗り越えているのかについて、様々な角度から検討・検証しています。異なる価値観を超越した原理や一般法則を見出すことは容易ではありませんが、ワクワク感とやりがいをもって取り組んでいます。

授業では、多国籍企業やグローバルな規模での事業展開に限らず、広く企業の経営戦略に関する内容を取り扱っています。

リサーチマップ：<https://researchmap.jp/mnkgw>

名児耶 富美子（なごや・ふみこ）職名：教授 学位：博士（理学）・法政大学

担当科目名：情報科学特殊講義 A・B

研究の紹介・アピールポイントなど：専門分野はソフトウェア工学です。主に要求分析、形式仕様、検証と妥当性確認（V&V）の研究に取り組んでいます。現代社会においてソフトウェアの高信頼性の確保は急務です。研究では、要求分析における仕様の曖昧さを排除する形式仕様技術や検証への応用を探求しています。具体的には、アジャイル開発と形式仕様の統合、GUI を用いた形式仕様の構築やテストへの応用、一貫性のある命名規則による欠陥予防など、実践的な品質向上アプローチを展開しています。情報科学特殊講義 A・B では、これらシステム開発理論を体系的に学び、国内外の最新 AI 技術も取り入れて議論を深めていきます。

リサーチマップ：<https://researchmap.jp/fumiko758>

野津 創太（のつ・そうた）職名：准教授

学位：博士（経営学）（東北大学）

担当科目名：経営組織論特殊講義（Ⅲ）A・B

研究の紹介・アピールポイントなど：

私の専門分野は組織行動論です。経営組織論の中のミクロ組織論とも呼ばれる分野で「組織における人間行動」を扱います。私は企業に所属していた経験もありますので、特に企業組織における従業員の行動やそれに先立つ心理・意識に興味があります。

従業員と組織の関係性（Employee-Organization Relationship：EOR）を主な研究テーマとしており、近年は、日本型雇用システム（終身雇用・年功序列賃金など）の変容・終焉が指摘され、少子高齢化による労働力不足が叫ばれるなかで、日本企業の従業員の意識がどのような現状にあるのか（どのように変化したのか）に着目した研究を進めています。

リサーチマップ：<https://researchmap.jp/s-notsu>

長谷川 英伸（はせがわ・ひでのぶ）職名：准教授 学位：兵庫県立大学 博士（経営学）

担当科目名：ベンチャー企業経営論特殊講義 A・B、経営学演習

研究の紹介・アピールポイントなど：

私の研究テーマでは、「中小企業の新事業展開」を主軸に、地場産業における創業プロセスの実証分析に取り組んでいます。中小企業固有の強みをいかに発掘し、存立基盤を強化できるかを解明することが本研究の核心です。

現在、各地の地場産業は大きな構造変化の渦中にあります。「集積地のメリットは失われた」という悲観的な見方もありますが、私はその価値を現代の文脈で再評価し、新たな社会的分業構造を模索すべきだと考えています。

既存の定説に問題意識を持ち、集積の利点を現代経営にどう活かすか。理論と実証の両面から、中小企業の発展に寄与する新たな分析枠組みを共に構築していきましょう。フィールドワークを通じ、次世代の産業の在り方を追究したい方の参画を期待しています。

リサーチマップ：<https://researchmap.jp/7000004418>

長谷部 弘道（はせべ・ひろみち）職名：准教授 学位：博士（社会学）（一橋大学）

担当科目名：経営学特殊講義 A・B、経営学演習

研究の紹介・アピールポイントなど：

研究分野は経営史・労働史です。具体的には、労務管理史・雇用関係論・企業コミュニティ論を中心に、日本企業の歴史的な人と組織のあり方を探求しています。また、組織による歴史利用や経営者教育の歴史研究にも取り組んでおり、現代の経営実践を歴史的視点から批判的に読み解くことを目指しています。

経営史は、現在の企業経営が「なぜこのような姿になったのか」を問う学問です。過去の事実を丹念に掘り起こし、経営や労働をめぐる諸問題の本質に迫るところに研究の醍醐味があります。また経営史は、歴史的な経緯を踏まえることで企業が進むべき道についても新たな視座が得られるため、実務的な意義も大いにあります。経営史・労働史・社会史に関心を持

つ大学院生の参加をお待ちしています。

リサーチマップ : <https://researchmap.jp/hrmchsb>

平松 庸一（ひらまつ・よういち）教授、博士（学術）（早稲田大学）

担当科目：人的資源管理論特殊講義（Ⅱ）A・B、経営学演習1・2

研究の紹介・アピールポイントなど：

研究分野は、戦略的人的資源管理論です。

人的資源管理論特殊講義（Ⅱ）Aでは、人的資源管理論の歴史的発展経緯及び人的資源管理システムを個別に（例えば、能力開発システム、評価システム、報酬システム等々）講義していきます。人的資源管理論特殊講義（Ⅱ）Bでは、戦略的人的資源管理論研究のフロンティアを中心に隣接研究領域との関連から講義します。経営学演習では、研究方法論を中心に修士論文作成に必要な研究スキルを実践的に修得していただきます。

リサーチマップ : <https://researchmap.jp/yh371030>

松野 奈都子（まつの・なつこ）職名：准教授 学位：博士（商学）（早稲田大学）

担当科目名：経営組織論特殊講義（Ⅲ）A、経営組織論特殊講義（Ⅲ）B

研究の紹介・アピールポイントなど：

専門分野は、経営組織論です。経営学の領域では、営利組織が対象とされることが多いですが、特に、非営利組織（NPO）や社会的企業といった社会的価値を生み出すことを目的として活動している組織を研究対象としています。近年は、NPOと企業がコラボレーションをすることも多くなりましたが、営利組織同士の提携と比較して、非営利組織と営利組織の連携はその壊れやすさが指摘されています。異なるバックグラウンドを持つ組織同士が、いかにすれば社会的価値をもたらす協働を行うことができるのかを経営組織論の視点から研究しています。

リサーチマップ : <https://researchmap.jp/7000007489>
